

学ぶことができ、
よい研修になっ
たと思います。

8月2日、国
際ロータリー25
20地区インター
アクト年次大会

に参加しました。最初、現地の高校生の発表を聞き、
次に宮澤和樹氏の「宮澤賢治のこころ」という講演会
を聞きました。8月3日、宮古工業高校に訪問・
交流をしました。最初太鼓部の演奏を聴き、花壇の
整備をしました。ロータリーからは水仙や桜の木を
寄贈し花壇の整備では花の苗を植え寄贈した桜の木
を植えました。次に高校の校舎に入り、放送部の発
表とラジオを聴きました。学校の2階ほどまで津波
が来て屋上まで逃げた人、津波にさらわれそうな人
を助けた先生の話を聞き、震災の怖さを知りました。
また、「鎮魂と希望の鐘」やロータリークラブの時計
がある丘へ行きました。8月4日の朝、津波の影響
で陸地に乗り上げている船を見学しました。津波の
恐ろしさを間近で感じることができました。最後に
この研修に参加した感想を一人ずつ発表します。

私はこのボランティアでたくさんのこと学び考
えさせられました。1つ目は感謝です。ボランティア
に参加できたのはロータリーの方々や顧問の先生、
現地の方々のおかげです。2つ目は私たちの日常が
当たり前でないということです。震災から日常の生
活のありがたさ、幸せだということを学びました。
3つ目は笑顔です。被災地には子供たちの笑顔が想
像以上にあふれています。これらの事を心にとめて
周りの人々に東北の現状知ってもらえるようこれから活動したいです。(河野)

実際に現地に行ってみると全く違っていて、想像
以上のものでした。また現地の方々の話も生で聞く
ことができ、地震や津波の怖さを改めて実感する
ことができました。貴重な体験をして、心に残るいい
思い出になりました。(内藤)

どちらの学校の方々も、笑っていました。彼らが今笑
えるのは、周りの人々と支えあい、助け合ってきたから
なのでしょう。私はそれが分かったとき、人々の絆の深
さを感じました。人と人が助け合い、支えあい絆を大
切にしていくことができれば、復興はより早くなると思
いますし、きっとできると私は信じています。(松田)

9月の例会案内

4日 音楽鑑賞例会
越前市文化センター
11:00～鑑賞 12:00～例会

11日 第1例会行事
新世代月間に因んで

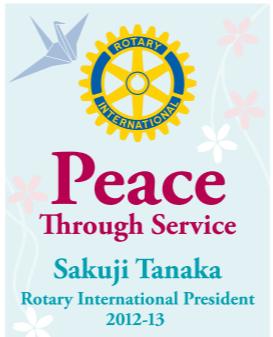
18日 会員卓話
山本有一郎会員

25日 ゲスト卓話
「管内の犯罪情勢について」
越前警察署生活安全課長
古嶋嘉喜雄氏



ニコニコ箱……13,000円

○佐々木会長 ○笠原 章 ○井上 常宏



2012-2013 RI テーマ
奉仕を通じて平和を

TAKEFU WEEKLY



Rotary Club of Takefu

創立/1954年(昭和29年)6月30日

事務局/〒915-8522 越前市塚町101 武生商工会館内

TEL.0778-23-5210・FAX.0778-22-2333 E-mail:takefurc@es.ttn.ne.jp

例会日/毎週火曜日 例会場/武生商工会館

会長/佐々木忠彦 幹事/河嶋 一 会報委員長/丹羽新吾

2012.9.4 No. 2248

Bridge the Gaps

2012-2013 第2650地区テーマ
隔たりをなくそう

学生さんへのIACの意味又は意義についての説明
も詳しくさせていただきました。例会の持ち方、イ
ンターアクトの歌の練習など短期間に沢山のメニュ
ーをこなしてもらいました。

福井県では当時福井女子高校のみにIACがありま
した。顧問の五十嵐先生の綿密な指導の元、発足に
こぎつけました。

草桶会長のもと、1991年9月22日武生商工会館3
階ホールにて武生東高校IAC創立総会記念式典が行
われ、RI第2650地区に西村大治郎ガバナー、中野重
宏IA諮問委員、山田元明IA委員長始め45名の来賓を
お迎えし、他に武生東高校の学生25名、当クラブ会
員50名、総勢120名が出席しました。11時30分頃、
式典終了。引き続き記念講演、懇親会が和やかに行
われ2時ごろ無事散会となりました。これにより、
武生クラブの長年の夢がようやく実現することとな
りました。ここに至るまでの加藤委員長はじめ関係
された方々には、私的な仕事を犠牲にされる程に幾
度となく武生東高校へ準備等で出向かれたり、設立
打合せ会合に時間を費やされる等本当に御苦労をさ
れました。

私は設立時には一委員としてお手伝いさせていた
だきましたが、その後3年間インターラクト地区委
員として出向させていただきました。その後県内には、
敦賀気比高校・福井高校のIACが創立されたことは
皆さんご存知のことと思います。

今日の一言:「世の中の人は何とでも言え、
我がなす事は我のみぞ知る。」

坂本龍馬

プログラム

夏季研修報告 武生東高校インターラクトクラブ

顧問 三田村万紀子氏

河野吏華 内藤早紀 松田幸美さん

私たちは8月1日から5日にかけて東北にボランテ
ィアに行ってきました。大変でしたが、色々なことを

会長挨拶 佐々木会長



先日、山内長之助会員宅へお邪魔し、50年の在籍記念品を届け
てまいりました。因みにお祝いの品は、クリスタルガラスのロータ
リーマークの入った置時計でした。50年在籍記念のプレートも付け
させてもらいました。ご夫妻共々玄関まで出てこられて、お元気そうでした。皆さ
んによろしくと、伝言を戴きました。耳も遠くなり、食も細くなつて、例会に出席しても皆様との会話も
しづらくなつたとおっしゃっておられました。

本日はゲストとして武生東高校インターラクトクラブ(IAC)の学生をお招きしました。夏休みに東北地方で行われた震災ボランティア活動について卓話をお願いしました。例年はタイやカンボジア方面の研修でしたが、今年度は昨年の東日本大震災に対する活動に変更になりました。こちらもアクトらしい奉仕の活動だったと思います。

ここで武生東高校インターラクトクラブ誕生につ
いてお話させていただきます。1992-'93年度林ガバ
ナー誕生の数年前から武生クラブにもIACを持とう
という機運が出始めました。加藤正憲IA委員長、千
葉耕平副委員長を中心に、武生東高校の田上校長、
内田・川北両先生やインターラクト地区委員の方々
と連絡を取りながらの準備でした。何事も初めての
事なので、五里霧中という感じでした。ESS部の有
志を母体に全校の学生相手に募集を行いました。設
立当時は30数名の大所帯でした。